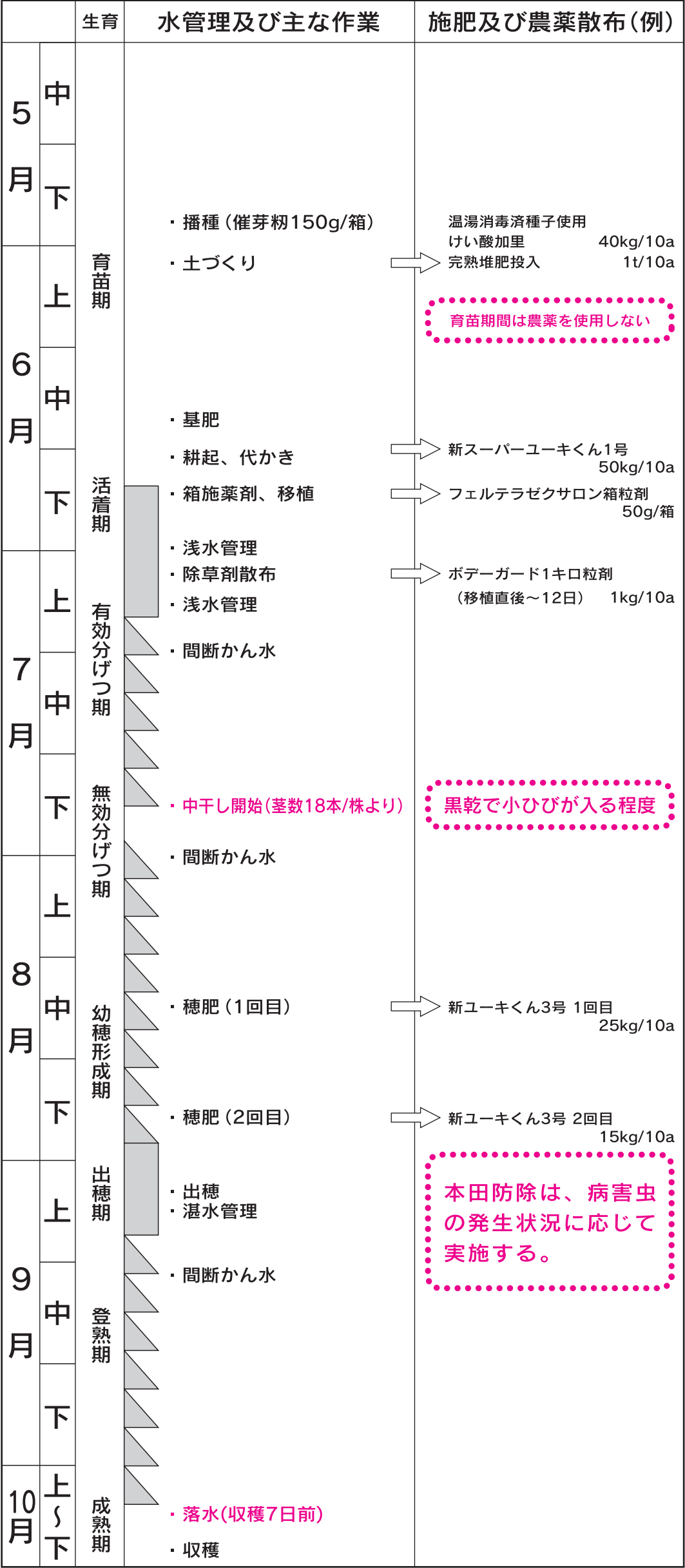


令和2年産「くるめの特別栽培米(ヒヨクモチ)」づくり基準

望まれる「福岡の米」づくりの推進

- 1.種子更新率100%
- 2.健全な土づくり
- 3.安心な米づくり
- 4.気象変動に左右されない米づくり（基本技術の励行）
- 5.高品質な米づくり
- ①堆きゅう肥
- ②土壌改良資材の投入
- ③深耕
- ①減化学合成農薬栽培
- ②減化学肥料栽培（完熟堆肥・有機入り肥料）
- 土づくり・適期移植・水管理の徹底・中干しの徹底・適期落水
- ①生育に応じた施肥
- ②適期収穫
- ③適正な乾燥・調製



収穫・乾燥調製上の注意点

・適期収穫：粃水分22～29%

・早期落水は絶対にしない

・乾燥玄米は水分14～15%

記載農薬は、令和2年1月の登録内容に基づき記載しています。農薬の登録は、随時変更されていますので、農薬を使用する際には、再度、包装容器・袋に記載されている有効期限および登録内容を確認して下さい。

品種特性表		※出穂期・成熟期は6月20日移植のデータ。その他は、品種特性表に基づく。										
熟期	品種名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	耐倒 伏性	穂発 芽性	外観 品質	食味	10a当り 玄米重 kg/10a	耐病性 いもち 白葉枯
晩生	ヒヨクモチ	9.6	10・26	69	19.1	394	極強	難	上の下	上の下	546	やや弱 中

特別栽培米施肥基準						(10a当り施用量)	
堆きゅう肥		土壌改良資材	基肥	施用量	穂肥	施用量	
土力目標 1トン		けい酸加里 40kg	新スーパーユーキくん1号 10-6-6（有機53%）	50kg	新ユーキくん3号 12-2-8（有機25%）	25kg	15kg

緩効性肥料による1回全量施肥				(10a当り施用量)	
堆きゅう肥	土壌改良資材	基肥	施用量		
土力目標 1トン	けい酸加里 40kg	有機エムコート256 12-5-6（有機50%） 120日タイプ	80kg		

農薬使用基準

※野菜等、周辺作物に飛散すると薬害を生じるほか、残留農薬により出荷できなくなるため、十分注意して防除を行う。

1.病害虫防除（箱施薬）

農 薬 名	化学合成農薬	使用量	使用時期	対 象 病 害 虫
フェルテラゼクサロン箱粒剤	2	1箱当り 50g	は種時(覆土前) ～移植当日	コブノメイガ・ウンカ類他

2.雑草防除					
農薬名	化学合成農薬	10a当り 使用量	使用時期 (移植後日数)	ノビエ (効果ある葉齢)	
ポデーガード1キロ粒剤	2	1kg	移植直後～12	3.0葉まで	
ガンガン1キロ粒剤	2	1kg	移植直後～12	3.0葉まで	
ポデーガードジャンボ	2	10パック	5～10	2.5葉まで	
ガンガンジャンボ	2	10パック	3～10	2.5葉まで	
ゼータハンマージャンボ	2	10パック	3～12	3.0葉まで	

※除草剤使用後は最低4日間湛水状態を保ち散布後7日間は落水、かけ流しをしない。

3.本田病害虫防除

※農薬によるミツバチへの危害防止のため稲の開花期に農薬の使用は避ける。
※病害虫防除基準は箱施薬剤の使用を前提としているため、箱施薬剤は必ず規定量を使用すること。また、トビイロウンカ対策として歴に記載している箱施薬剤が有効です。

ヘリ防除

使用時期	農薬名	化学合成農薬	使用液量(10a)	希釈倍数	対象病害虫
8月中旬	アプロードゾル	1	800ml	16倍	ウンカ類幼虫
	トレボンエアー	1	800ml	8倍	コブノメイガ・ウンカ類
	バリダシンエアー	0	800ml	8倍	紋枯病
乳熟期	スタークル液剤10	1	800ml	8倍	ウンカ類・カメムシ類

粉剤粒剤防除				
使用時期	農薬名	化学合成農薬	使用量(10a)	対象病害虫
8月中旬	アプロードモンカットスタークルF粉剤DL	3	4kg	ウンカ類・紋枯病
出穂30日前～5日前まで	コラトップ1キロ粒剤12	1	1～1.5kg	いもち病(穂いもち)
収穫7日前まで	スタークル粉剤DL	1	3kg	ウンカ類・カメムシ類

液剤散布防除				
使用時期	農薬名	化学合成農薬	使用量(10a)	対象病害虫
8月中旬 下旬	アプロードモンカットエアー(収穫14日前まで)	2	1000倍液を60～150ℓ	ウンカ類幼虫・紋枯病
	スタークル液剤10(収穫7日前まで)	1	1000倍液を60～150ℓ	ウンカ・カメムシ類
	ビームゾル(収穫7日前まで)	1	1000倍	いもち病
補正防除	スタークル液剤10(収穫7日前まで)	1	1000倍液を60～150ℓ	ウンカ・カメムシ類

※本田防除は、病害虫の発生状況に応じて実施する。
※ジャンボタニシ対策にはスクミンペイト3が使用できます。スクミノンは使用できません。
※カメムシ対策として出穂14日前までに畦草刈りを実施する。
※バリダシンエアーは化学合成農薬のカウントから除外されます。

久留米市農業振興協議会

JAくるめ本店営農事業部
33-3671

東部営農センター
45-0345

西部営農センター
26-4111

久留米普及指導センター
47-5101

久留米市生産流通課
30-9164

ヒヨクモチ

農林水産省新ガイドラインによる表示

特別栽培米

節減対象農薬 : 当地比5割減

化学肥料(窒素成分) : 当地比5割減

栽培責任者 : JAくるめもち米生産組合 組合長 諸藤 澄夫
住所連絡先 : 福岡県久留米市荒木町白口2371番地 TEL:0942-26-7396
確認責任者 : 久留米市農業協同組合 営農事業部 農産流通課
住所連絡先 : 福岡県久留米市篠原町4番地の7 TEL:0942-35-9904

節減対象農薬の使用状況

化学肥料の使用状況

使用資材名	用途	使用回数(12パターン)												使用資材名	用途	使用量(2パターン)	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L			①	②
クロラントラニリブロール 0.75%	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	有機エムコート 256	基肥	窒素 4.8kg/10a	
トリフルメゾピリム 0.75%	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
テフリルトリオン 3.0%	除草	1	1	1	1												
フェントラザミド 3.0%	除草	1	1	1	1												
テフリルトリオン 7.5%	除草					1	1	1	1					新スーパー ユーキくん1号	基肥		窒素 2.35kg/10a
フェントラザミド 7.5%	除草					1	1	1	1								
プロピリスルフロン 4.5%	除草									1	1	1	1				
ペントキサゾン 10.0%	除草									1	1	1	1				
ブプロフェジン 40.0%	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	新ユーキくん3号 (第1回)	穂肥	窒素 2.25kg/10a	窒素 2.25kg/10a
エトフェンブロックス 10.0%	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
ジノテフラン 10.0%	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
ジノテフラン 0.35%	殺虫・殺菌	1				1				1							
ブプロフェジン 1.5%	殺虫・殺菌	1				1				1				新ユーキくん3号 (第2回)	穂肥	窒素 1.35kg/10a	窒素 1.35kg/10a
フルトラニル 2.0%	殺虫・殺菌	1				1				1							
ジノテフラン 0.5%	殺虫		1				1				1						
ブプロフェジン 20.0%	殺虫・殺菌			1				1				1					
フルトラニル 20.0%	殺虫・殺菌			1				1				1					
トリシクラゾール 20.0%	殺菌				1				1				1				
計		10	8	9	8	10	8	9	8	10	8	9	8				

※上記、12パターンの農薬を使用した米穀が混合しています。

※上記 2パターン(①・②)の肥料を使用した米穀が混合しています。

令和3年8月27日

以上証明致します。

久留米市農業協同組合

代表理事組合長 森光 佐一郎

